

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：20-250

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：Uncomplicated B型大動脈解離に対する胸部大動脈ステントグラフト内挿術の早期介入の治療解析

・目的：近年、高リスク単純B型大動脈解離(UTBAD)に対する胸部大動脈ステントグラフト内挿術(TEVAR)は増加し、本邦の最新のガイドラインにおいてもB型大動脈解離発症後亜急性期のTEVARが推奨されています。UTBADに対するTEVARは破裂と大動脈関連死の予防治療であり、逆行性A型大動脈解離(RTAD)は最も壊滅的かつ致命的な合併症で、その予防対策は極めて重要な課題です。当院で施行したRTAD予防対策を講じたUTBADに対するTEVARの治療戦略とその成績について検討し、現行のUTBADに対するTEVARの警鐘とすることを目的としています。

・研究期間：臨床研究IRB承認日～2022年12月31日

・研究対象：2008年12月1日～2020年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：性別、年齢、入院期間、退院時生存率の有無、退院先、有害事象の有無とその詳細、既往歴、喫煙歴、糖尿病、脂質異常、透析の有無、高血圧、慢性肺疾患、経皮的冠動脈形成術、腎機能、大動脈瘤径（術前、術後1年後、2年後、3年後、4年後、5年後）、術後合併症（エンドリークの有無）、2次的治療介入の有無、RTADの発生頻度、RTADを起こしたデバイスの詳細、手術時の留置位置をカルテから調査します。

③ 利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 高澤 晃利

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 高澤 晃利